

みてんか

まつさか市議会だより

vol.100
2024.6.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



おかげさまで

1000号

令和6年度当初予算	P 2
代表質問	P10
みてんか100号記念	P27



令和6年度当初予算案を議会がチェック!

令和6年度 松阪市一般会計予算案 など54議案を可決

令和6年2月議会が2月14日から3月21日まで37日間の会期で開催されました。予算に関する議案については、4常任委員会の所管ごとに集中的に審査し、本会議最終日には、委員長から審査報告が行われ可決しました。

討論のあった議案

議案
第1号

一般会計予算

賛成多数
可決



反対討論

個人カード交付事業のマイナンバー推進の事業について、いわゆる保険証の紐付けが実施されることを問題と指摘し反対討論とする。

賛成討論



スピード感と独自性を持ってここに住んでよかった松阪市を目指し、邁進していくことを期待し、賛成討論とする。

賛成討論



任期中の借金を増やさないことを掲げ、健全な取り組みがなされている。今後の財政運営の状況を見極め、市民のための伸ばす政策を期待し賛成討論とする。

議案
第4号

介護保険事業特別会計予算

賛成多数
可決



反対討論

今回の介護保険制度改正は高齢者負担、そして利用者の負担が上がり、さらに訪問介護事業者やケア労働者には仕打ちのような結果となった。今回の改訂の予算には厳しく反対する。

議案
第7号

水道事業会計予算

賛成多数
可決

反対討論

受水費の負担と高い水道料金という構造は変わらないということで反対する。

議案
第37号松阪市民病院事業の設置等に関する
条例の一部改正賛成多数
可決

反対討論

答申の内容は市民病院を機能転換し、経営形態を指定管理するというものであるが、機能転換の内容がまだ示されていない。

反対討論

舞台裏では、指定管理者をめぐる協議は済んでいることを伺わせるできごとがあった。公募対象の2病院の一方が指定管理者に手を挙げ、もう一方は手を挙げないということで双方の意思が一致していることが県医療政策課が開催した3月8日の松阪地域医療構想調整会議で明らかになった。市民と一緒にどんな市民病院をつくっていくかよりも、医療機関の都合が優先されたかのように受け止めざるを得ない。



賛成討論

松阪市の20年、30年先の地域医療を守るため、急速に進む人口減少、高齢化に向けて地域のバランスのとれた医療機能の分化、連携が必要。本議案の議決には大きな責任がある。



請願
第1号入院に至らなかった救急搬送患者からの
選定療養費の徴収する決定の撤回を求める請願賛成少数
不採択

賛成討論



入院に至らなかったからといって、救急車が要らない軽症だったとは限らない。救急車に搬送され入院には至らなかったが、後で緊急手術が必要になったケースもある。

厚生労働省から松阪市に届いた文書によれば、入院に至らなかった患者を救急の患者ではないとして一律に除外するといった運用は想定されていない。

松阪市は1月19日の環境福祉委員会協議会では、多くの病院では救急搬送であっても入院に至らなかった患者からは選定療養費を取っているかのように、5つの病院名を提示した。このように、あたかも全国の多くの病院が救急搬送者であっても、入院に至らなかった場合、選定療養費を取っているかのような例示の仕方は慎むべき。松阪市だけが例外をつくろうとしている。

反対討論



「入院しなかったら7,700円」そういった言葉や見出しが新聞やテレビなどで扱われた。しかしながら、報告という形で行われた1月19日の環境福祉委員会協議会での資料を見ても、入院しなかった方は誰でも徴収されるというのではなく、「入院に至った方」「紹介状をお持ちの方」「公費負担医療制度対象の方」「医師の判断によって支払う必要がないと判断された方」という条件がついている。

請願者におかれては、このことを委員会の審査の中で議員からの質問や説明を通してご理解いただいたことが発言から伺えた。

このように、時間の経過とともに制度の内容が明らかになるにつれ、その内容も多岐にわたるため、制度の把握に努める必要がある。また、執行部が情報を整理できていないため、市民やメディアの誤解が生じていることも指摘する。

2月定例会の議決結果

議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。
過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。
○は全会一致、●は賛成多数、✕は賛成少数

check!! →



議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果	
令和6年度予算	1 一般会計予算	●	条例	23 介護保険条例の一部改正	●	
	2 競輪事業特別会計予算	○		24 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準条例の一部改正	○	
	3 国民健康保険事業特別会計予算	○		25 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例の一部改正	○	
	4 介護保険事業特別会計予算	●			26 指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準条例の一部改正	○
	5 後期高齢者医療事業特別会計予算	○		27 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正	○	
	6 住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○			28 篠田山斎場条例の一部改正	○
	7 水道事業会計予算	●		29 嬉野斎場条例の一部改正	○	
	8 下水道事業会計予算	○		30 飯南火葬場条例の一部改正	○	
	9 松阪市民病院事業会計予算	●		31 コミュニティ交通条例の一部改正	○	
令和5年度補正予算	10 一般会計補正予算(第13号)	○		32 市営住宅条例の一部改正	○	
	42 一般会計補正予算(第14号)	○			33 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○
	43 競輪事業特別会計補正予算(第2号)	○		34 市立学校設置条例の一部改正		○
	44 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○		35 水道給水条例の一部改正	○	
	45 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○		36 公共下水道条例の一部改正	○	
	46 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○		37 松阪市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正	●	
	47 住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○			50 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○
	48 水道事業会計補正予算(第2号)	○		51 市長、副市長及び教育長の給料、旅費等に関する条例の一部改正	○	
	49 下水道事業会計補正予算(第2号)	○		52 市税条例の一部改正	○	
条例	11 蒲生氏郷顕彰基金条例の制定	○		人事	53 公平委員会委員の選任	○
	12 飯高奥香肌峡林間キャンプ場条例の廃止	○			54 人権擁護委員候補者の推薦	○
	13 子ども・子育て会議条例及びいじめ問題等の対策に係る基本方針の策定及び連絡協議会等の設置条例の一部改正	○		その他	38 市道路線の認定	○
	14 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	●			39 市道路線の変更	○
	15 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○			40 与原・飯福田・後山辺地に係る総合整備計画	○
	16 職員の給与に関する条例の一部改正	○	41 三重地方税管理回収機構の規約変更に関する協議		○	
	17 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	請願	1 入院に至らなかった救急搬送患者から選定療養費の徴収する決定の撤回を求める請願	✕	
	18 手数料条例の一部改正	○		発議	1 市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	○
	19 手数料条例の一部改正	○	2 市議会議員の派遣		○	
	20 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	3 議案第37号 松阪市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正についてに対する附帯決議		○	
21 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正	○					
22 国民健康保険税条例の一部改正	○					

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	議員名	政友会					蒼水会					市民クラブ				公明党				会派に所属しない議員								
		中村 誠	松本 一孝	市野 幸男	田中正浩	米倉 芳周	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	山本 芳敬	森 遥香	野呂 一平	赤塚 かつり	深田 龍	沖 和哉	濱口 高志	東村 佳子	吉川 篤博	橘 大介	楠谷 さゆり	中島 清晴	小野 建二	奥出 かよ子	松岡 恒雄	小川 朋子	殿村 峰代	西口 真理	海住 恒幸
1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1		✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	○	○	○	○	

議長 坂口秀夫は採決に加わりません。○は賛成した議員、✕は賛成しなかった議員。

総務企画委員会

市制20周年記念イベント推進事業

【市制20周年記念イベント推進事業費】

予算額 **37万円**

問/ 市民や市民団体にわかりやすく周知する必要があるが、実施期間は令和7年1月からの1年間か。

答/ 市民や市内で活動する団体、事業所などからの公募は5月から行い、実施期間は令和7年1月から12月までの1年間で行う。



市民全体が納得できるように願います。



問/ この事業の目的は。

答/ 市民の提案による市民の事業を行うことで市民活動全体が活性化し、市全体の一体感が高まり、シビックプライドが醸成されること。

防災訓練

【防災訓練事業費】

予算額 **100万円**

問/ 防災訓練事業費は前年度と同額だが、訓練の内容は充実したものになるのか。

答/ 令和5年度は夜間に実施したが、令和6年度は日中に行い、規模を大きくし、地域の特性を盛り込んだ内容にしたい。

問/ 要配慮者への対応は考えているのか。

答/ 避難の支援、避難所での配慮などは重要であり実行委員会での提案、協議を考えている。

問/ 要配慮者への参加の呼びかけはできないのか。

答/ 防災訓練に参加できるよう地域特性に応じた訓練ができるように進めていきたい。



環境福祉委員会

【地域自死対策強化事業費】

予算額 **76万円**



いのち
支える

問/ 令和6年度に強化する事業は。

答/ 新たな展開として公認心理士による月1回の相談体制を強化していく。

問/ 自死される方は5月・6月に多いが、街頭啓発を3月と9月にする理由は。

答/ 9月は自殺予防週間、3月は自殺対策強化月間であるため、全国的な啓発と合わせている。



意見



4月の不安な時期に啓発を行うことで効果があるかもしれない。本当に支援の必要な人に届けられるように、周知方法や啓発の時期を工夫してほしい。



公立幼稚園の統廃合、こども園の移転

問/ 大石地区で課題となっている場所の移転など、令和6年度の動きはあるのか。

答/ 現在、みなみこども園として運営しているが、臨時的な場所である。大江中学校か南小学校のどちらに移転するか、小中学校の再編活性化の協議結果により決定する。



問/ 保護者からは、危険な場所なので早くしてほしいとの声がある。

答/ こども局も常に教育委員会とは連携を取り、協議の場に出席している。



意見



できるだけ早く方向性を決め、地域の安心につなげていただきたい。

文教経済委員会



「松阪みんなの商品券事業」 平等な配布を!

【生活支援！松阪みんなの商品券事業費】

予算額 4億9,982万円

問/ 松阪みんなの商品券事業について世帯単位での配布は不公平ではないか、また5回目の実施であるが改善したことは。

答/ 家計支援を早急に行うことが必要と考え、これまでと同様の世帯単位での配布とした。改善点としては商品券の販売について日曜窓口の回数を増やし、また事業者が行っていただく換金期間を延ばした。



意見



不公平を無くすために時間をかけてでも世帯単位ではなく個人単位での配布をお願いしたい。



「学校規模適正化事業」 未来の子どもたちのために!

問/ 学校規模適正化事業の進捗状況は。

【学校規模適正化事業費】

予算額 156万円

答/ 松ヶ崎小学校、香肌小学校、大江中学校区、東部中学校区の4地区で意見交換を進めているが、地区ごとに進捗状況が異なっているため慎重にすすめていきたい。

問/ 統合という方向で進んでいくのであれば準備部会などの人選はどのようにお考えか。

答/ 住民自治協議会、保護者、学校運営協議会の代表者と学校、市の構成で考えており、学校と相談しながら検討していきたい。



意見



これから子どもを小学校へ通わせる保護者も参加できるように将来を見据えた話し合いをする場所ということを考慮して体制を検討していただきたい。

建設水道委員会

【橋りょう長寿命化事業費】

予算額 **1億6,150万円**

問/ 令和5年度より約1億円の減額となっているが、橋りょう耐震対策事業にも含んでいるのか。

答/ 令和5年度までは橋りょう長寿命化の中で耐震事業を実施していた。令和6年度から橋りょう耐震対策事業費を新規事業として計上した。主にその分が減額となっている。



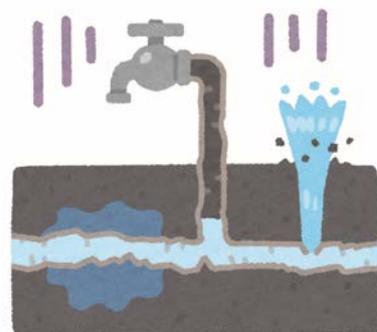
国の財源を十分活用し、積極的に長寿命化を進めていただきたい。

【松阪市水道事業会計予算】

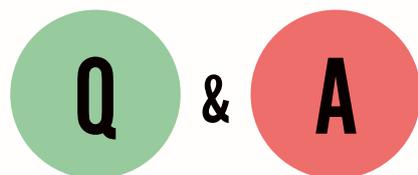
予算額 **62億5,244万円**

問/ 全国でいくつかの自治体がJAXA認定ベンチャー「天地人コンパス宇宙水道局」を採用し、AI（人工知能）技術で漏水リスクを評価する漏水対策を行っているが、市でもこのようなIT（情報技術）を導入した取り組みを行っているのか。

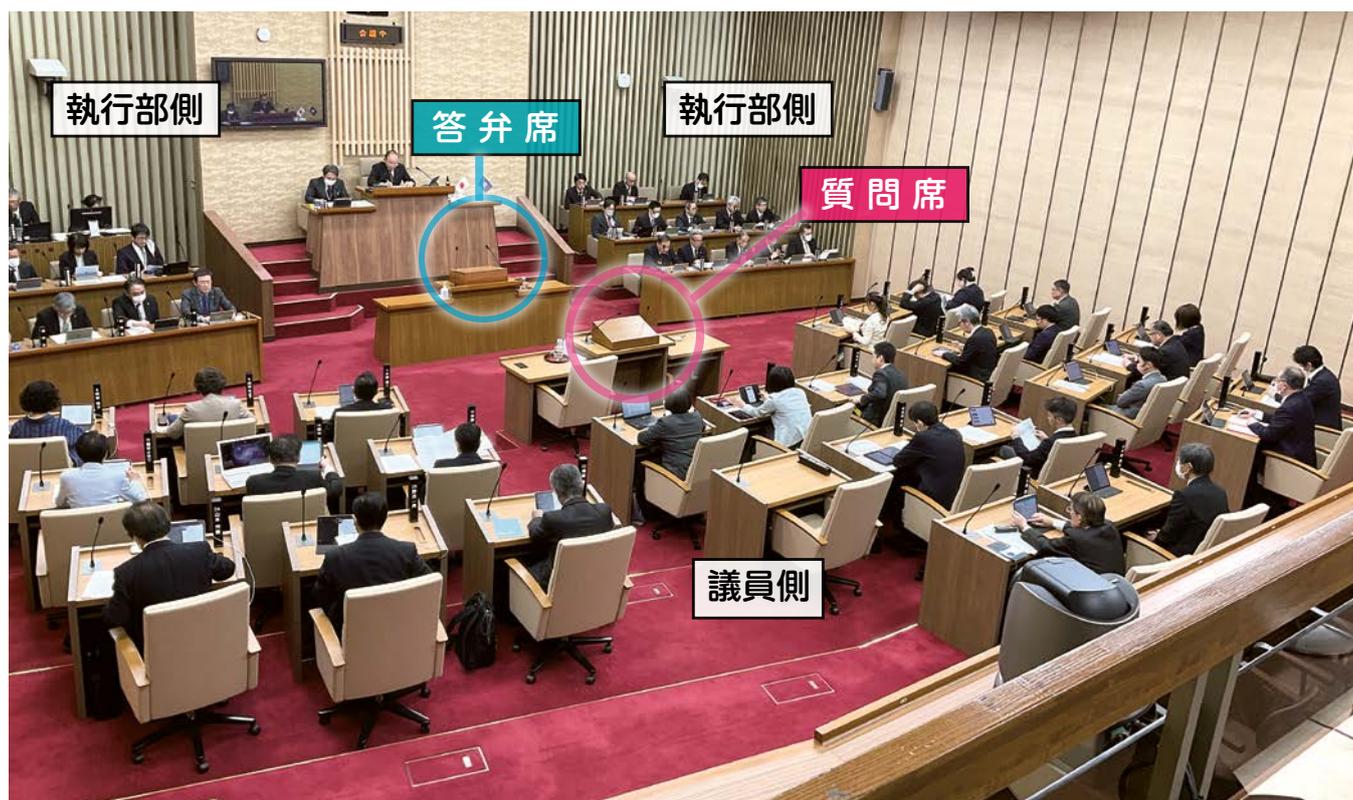
答/ 本庁管内を6地区に分け、毎年1地区ずつ漏水調査を発注し、調査を行なっているがITを導入した調査は行っていない。



ITを導入した漏水調査の研究をし、漏水対策を進めていただきたい。



代表質問



令和6年度当初予算案の審議にあたり、2月定例会初日に市長から当初予算提案説明における基本的な考え方が述べられました。

これらを受け、会派の代表議員がひとりあたり50分（答弁時間を含む）の時間制限の中で質問しました。

【例】所属議員3人の会派は、50分×3人＝150分の時間制限となります。

※ 代表質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、各会派および会派に所属しない議員自身が作成したものを、そのまま掲載しています。また、掲載は質問順とは限りません。

※ QRからは、各会派および会派に所属しない議員の代表質問を行った日の動画をまとめたページにリンクします。（別途通信料が発生します。）





松阪市制20周年に際しての政策を問う！



なかむら まこと
中村 誠 議員

やまもと よしひろ
山本 芳敬 議員

たなか まさひろ
田中 正浩 議員

まつもと かづたか
松本 一孝 議員



のろ かずお
野呂 一男 議員

さかくち ひでお
坂口 秀夫 議員

いちの ゆきお
市野 幸男 議員

ほりばた おさむ
堀端 脩 議員

よねくら よしちか
米倉 芳周 議員

松阪市制20周年を見据えて

問 令和7年1月1日で、市制20周年を迎えるが、さまざまな行政手法および組織運営に関し見直す時点であると考え。一策として、地域振興局の在り方や組織の再編成についても検討が必要ではないか。



▲市制20周年・松阪市役所

答 昨年、本庁舎と地域振興局をテレビ電話方式でつなぐ「遠距離窓口システム」

を導入し、税務職員配置を見直した。3月18日より、中郷、川俣、波瀬の各郵便局において、証明書や行政手続きの取り扱いを開始する等、「新しい公」を行っている。職員の働き方自体も変化させ、「福祉まるごと相談室」のような新しいニーズも生まれていることから組織の在り方や地域振興局の在り方も検討していく。

市の財政運営の方向性は、いかに

問 今後、合併特例事業債の活用がなくなり現時点ではそれに代わる財源はなく、未来投資基金40億円の全額活用も令和9年度からと聞く。財源確保と並行して経費削減も図る必要もある。見解は。

答 今後、厳しい財政運営を行わざるを得ないことが予想される。合併特例事業債が、令和6年度で終了することに加え、

義務的経費増が予想される。

収入面では、補助金の活用、未利用地の売却や活用、企業誘致、産業活性化策の強化等に努める。一方では、歳出の抑制と最適化を図るため、DXやGXおよび施設マネジメント推進の取り組み。投資的経費については、各補助金や起債等を有効活用していく。

松阪市の防災対策

問 住民による共助がしっかりと連携が取れない事を課題としているが、市民の足元に目が届くよう、どうしていくのか。

答 住民の共助体制、社会的弱者・要配慮者の支援などが課題であり、発災時に地域住民が連携して要配慮者に寄り添っていただける地域づくりが必要。市では防災意識の向上を目指して支援に努めている。



▲小学校体育館に設置されたエアコン室外機（熊本）

問 小中学校の体育館は避難所となるが、夏場に南海トラフ地震が起きるとエアコンの無い体育館では熱中症や体調不良の患者が出てしまう。体育館にエアコン設置の考えはあるのか。

答 南海トラフ地震が発生した場合、多くの避難者が体育館を使用する。避難者の健康面を考慮する観点から国や県、他市の動向を注視していきたい。

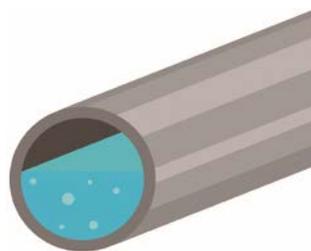
意見 2016年4月の熊本地震後すぐに暑

い夏が来て、各避難所で熱中症患者が出たため、急遽^{きゅうさよ}避難所にエアコンが設置された。広域の南海トラフ地震では避難所にすぐにエアコンを設置するのは難しい。早急に体育館へエアコンの設置をお願いしたい。

能登地震の被害から考えた松阪市の上水道は大丈夫か？

問 上水道の基幹耐震工事が38.5%。耐震化を早く進める必要があると思う。あまり予算が増えていないが、見解は。

答 耐震化工事の重要性については認識している。一方で、更新費用に係る財源は主に企業債と料金収入で賄っており、料金収入が減少する中、更新費用を増額すると水道経営を圧迫することから限られた財源で事業を進めている。



市における危機管理において、特命理事は1人でよいのか

問 事件とされる事案が発生した場合、緊急を要する事案は複数件、同時に起こることもある。1人部署の体制での今の状態をどう考えるのか。

答 危機管理特命理事の体制をつくるまでは、市の危機管理体制は全くなっていなかったと思う。この形になりスムーズに危機管理事案が処理できるようになった。複数体制より1人に集中させた方が効率的である。全職員、全部長が対策員となり、大きいこと、小さいことを含め、差配ができる体制をつくっていくことが重要である。

患者の同意が確認できない 選定療養費の請求はできるのか

問 ひとり暮らしの老人が倒れていて運ばれ、意識確認はできない場合も請求となるのか。

答 いろんなケースが考えられる。3病院が基本的に同調する必要があり、今後いろいろと検討していきたい。



コミュニティセンター化の進捗は

問 令和6年度指定管理者を目指す住民自治協議会は2地区。コミュニティセンター化の準備をされている住民自治協議会はゼロ。なぜ多くの住民自治協議会の手が挙がらないのか、その打開策は。

答 次年度から3つのモデル地区が運営を行って行く中で、より多くの検証を行い、情報共有を行い令和8年度から多くの地域が管理運営するコミュニティセンターに向け支援をしていきたい。



▲徳和コミュニティセンター

問 令和8年度よりコミュニティセンターに移行することが決定された。市直営に移行した場合、行政事務の見直し、市が管理運営を行う。職員体制を検討すると

どうなるのか。

答 松阪公民館ほか4館を除く公民館の廃止を行いコミュニティセンターに移行し、市が管理運営を行う。市直営のセンターは市職員が管理し運営方法が決まれば説明を行いたい。

学校を取り巻く組織再編

問 P T A非加入現象等による新しい保護者組織の在り方についての見解は。

答 時代の変化に伴い、価値観や働き方の多様性によってP T Aの在り方を模索していく必要がある。

問 令和6年度中に全学校にコミュニティ・スクールが導入されるが進捗は。

答 令和6年度には100%となる予定。

問 C S、P T A、育成会、ボランティアそれぞれの組織の立ち位置は。

答 一体的・総合的に構築していく必要がある。それぞれの強みを生かし取り組みを行っていただいている。

意見 将来的に同じ目的をもった組織の再編が必要。行政のご尽力を期待する。



▲鎌田中学校コミュニティ・スクール

公共施設マネジメントの今後の展開

問 公共施設マネジメントを實踐していく上で、公共施設等総合管理計画が策定され令和4年改訂されているが今回の改訂のポイントは。

答 公共施設等適正管理推進事業債を活用

するためには総合管理計画が必須要件であった。今後の基本的な方針、財務書類等の活用などカーボンニュートラルの実現を新たに加えた。

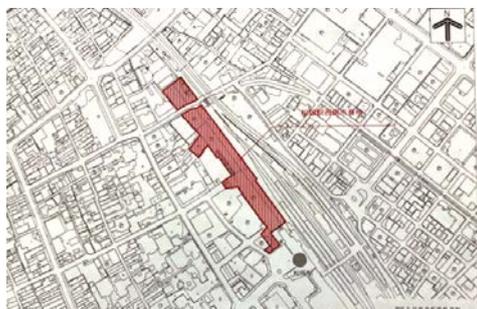
問 松阪市のトータル削減目標540億円から令和4年度で約80億円削減された。今後30年間でいかにして460億円を削減していくのか。

答 公共施設等を廃止、LED化による電気料金の削減や民間委託の導入、PPPやPFIなどの導入検討も含め、さまざまな手法で削減に取り組んでいく。

松阪駅西開発の進展状況は

問 目標年次計画をおおむね10年とし、商業施設を誘致し、行政窓口機能の充実に加え、市民活動ができる場を整備するとなっている。その中でコロナ禍の3年、経済の回復期である今年度の進展は困難であったと認識するが、現状は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大、建設資材等の高騰により、昨年度は、事業者募集時期を見直した。令和5年度は、事業者へのアンケート調査および事業予定地の確定測量を実施し、今後、測量業務の成果を用いて、事業者へのサウンディング調査を実施する。



▲松阪駅西開発

問 今回実施したアンケートの結果は。

答 令和6年1月下旬から2月上旬にかけて、総合建設業9社に対し、行政への要望等、事業用地の規模、範囲等を伺った。

うち6社から回答があり、今後公募するにあたり詳細内容については回答できないが、全ての事業者が「現在の社会情勢による影響はある」との回答があった。

問 公募に向けて、市民から出された提案をどのように反映していくのか。

答 「気軽に滞在、つながる、まちのにぎわい発信源」を公募条件のメインテーマとして進める。第一募集では、概略提案を行い選定された事業者との対話を経て、本提案である二次募集での選定となる。

農業維持・振興の進め方

問 松阪市の農業を将来にわたってどのように維持し、また振興していくのか。

答 農業の維持、振興に向けた基本的な考えとして、地域農業を支えていく担い手と農地の確保が重要であると考えている。地域計画を市町村が策定することとなり、概要としては、将来的に耕作する農地を定め、担い手がより計画的に農業経営を行ってもらうための計画である。各地域の担い手や地域住民の方々と農業の将来像について協議を行うことが条件であることから、担い手や地域の意向を反映しながら、各地域の実情に応じた農業振興に努めたい。



▲農地を守り、耕作放棄地としないために

投票率向上を目指して

問 若者の投票率の低さが問題となっている。その要因についてその親世代の意識

が薄いからではないかとの意見もある。世代の意識を高めってもらうため町別投票数を公表してはどうか。

答 町ごとになると投票の秘密を侵すことにつながる。松阪市では、投票区ごとに集計しホームページで周知している。

地域活動の担い手育成

問 地域の担い手問題で市が行ってる事は。

答 コミュニティセンター化は対策の一つ。

問 松阪市内に青年団組織とか保存会等で活動している組織は何力所あるか。

答 4団体、保存会は19団体である。

問 各地域に、青年団もしくはそれに準ずる組織を年間活動費的な補助金を充てて結成を促す事ができれば、少しでも担い

手不足の解消につながるのでは。

答 住民自治協議会に地域づくりを行うための交付金を交付している。各地域で協議の上、解消してほしい。

意見 さまざまな担い手が不足し、幅広い感覚で担い手をつくることは、急務だと感じる。地域のことは地域で考えることは当たり前のことだが、行政としての角度からも調査研究をし、前向きに考えてほしい。



▲青年団地域活動（かんこ踊）

会派に所属しない議員



市民の命を守るため
市は何をすべきで
何をすべきでないか



にしぐち まり
西口 真理 議員

能登半島地震を教訓に、 水道管耐震化のスピードアップを

問 能登地震で水道施設が壊滅的な被害に及んだ原因は水道管の耐震化の遅れだと言われている。厚労省は令和10年度末までに耐震適合率60%を目標とせよと言っているが、輪島市52.6%、珠洲市36.2%。松阪市は38.5%。11年度の目標値44.5%でいいのか。

答 耐震化の重要性を再認識した。いずれは水道料金を見直していかざるを得ないだろう。国の支援も要望していきたい。

「入院に至らなかった 救急搬送7,700円」もっと熟議を

問 入院に至らない中にも救急搬送が必要な患者はみえる。徴収する対象が不明確なため現場で混乱やトラブルが起こるのは必至。6月実施はあまりにも急ぎ過ぎ。

答 適用基準は各病院の判断に委ねられる。6月開始に向け、丁寧な案内に努める。

意見 選定療養費7,700円がかかるために救急車を呼ぶのをためらう人が出るのではないか。市民には軽症か重症かの判断はできない。助かる命も助からない事態が起こりかねない。

こんにちは

- ① 救急車を呼ぶほどでもないときの相談
- ② 不意のけがの応急手当
- ③ 赤ちゃんが夜中に熱を出した
- ④ メンタルヘルスに関する相談 など

松阪地区救急相談ダイヤル24

0120-4199-17

安心してお電話ください。
看護師・保健師・医師などがわかりやすくアドバイスします。
松阪市・多気町・明和町にお住まいの方が利用できます。

救急車を呼ぶかどうか迷ったときは、119番してください。

▲救急ガイド
(松阪地区広域消防組合)より



「再定義」により竹上丸は航路を温かく照らせるのか



なかじま きよはる
中島 清晴
議員

ひがしむら よしこ
東村 佳子
議員

たちばな だいすけ
橘 大介
議員

くすたに
楠谷 さゆり
議員

よしかわ あつひろ
吉川 篤博
議員

市制20周年に向けて 一過性のイベントにならないように

問 合併20年、全体としての一体感も少しずつ醸成されてきた。地域の拠点構想は。

答 地域振興局の将来像を現時点で明確に描くことは困難である。時代に即したものとなるよう役割や機能について今後も十分な議論をしていきたい。

さらなる「子育て支援」の充実を 現場の声は届いているか

問 効果的な保育士の確保が重要になる。どう取り組んでいくのか。

答 新規で見学ツアー等を行い、積極的に今後の事業や就職情報等の発信を行う。

問 職場の処遇改善に努めるべき。なぜサービス残業はなくなるのか。

答 これはあってはならぬこと。今後も定期的に業務内容を協議するなど、適切な時間外勤務管理について指導していく。

提言・答申通りになったとき 「松阪市民病院」の未来は…

問 この答申は、市民病院職員の人生設計

や今後の地域医療に大きな影響を与える。

答 雇用を守るという点については、職種を限定した話ではなく、継続を希望する職員の雇用が前提。また非正規の職員にも一定の配慮が必要であると考えている。

問 医療従事者の減少や医療の質の低下は市民や近隣の市町にとって大きな損失。

答 今後、指定管理者制度の活用に当たっては、職員に説明できるよう雇用や待遇に関する具体的な調整を進めていきたい。



▲どうなる松阪市民病院

市の防災力と避難所の在り方 市民の備えへの啓発

問 市庁舎の非常用電源、停電時の防災行政無線のシステムの対応は。

答 災害時の燃料供給協力協定の締結、可搬型発電機、太陽光発電システム設置。

親局、中継局、屋外拡声子局とも非常用電源とバックアップバッテリーで対応。

問 防災の一丁目一番地、建物耐震補強は。

答 令和6年度の一般木造住宅耐震診断、耐震補強等事業費補助金の当初予算を増加し市民に寄り添い耐震化支援に努める。

問 初の夜間訓練の成果と令和6年度の総合防災訓練への生かし方は。

答 初動対応訓練の重要性に併せて地域の特性に沿った実働訓練も必要と認識。

問 能登半島地震を受けて市民と共有すべきことは。

答 避難者のほとんどが高齢者等社会的弱者、要配慮者でその対応が必要。訓練等で避難所の備蓄品を実際に見て触り自分事と捉えていただき共に取り組んでいく。



▲家庭における食材の備蓄例

春の松坂城跡ライトアップを秋に開催してみてもどうか

問 冬の滞在型コンテンツ磨き上げ事業は約4,600人の来場客で好評であった。それに比べ秋に実施された豪商のまち松阪プロモーションの総来場者数6,000人は少ない。この時期にもっと観光客を呼び込むことができたのではないか。

答 秋の観光客誘致に努め、たくさんの人を集めていきたい。

問 春の松坂城ライトアップは事業費311万6,000円で、17日間開催され、来場者数は2万6,380人と費用対効果が高い。秋に紅葉のライトアップとして開催してみてもどうか。

答 施策の一つとして調査研究をしていく。

▶松坂城跡
桜ライトアップ



地域が広がる認知症カフェとは

問 サロンと認知症カフェの差別化とは。

答 市や自主グループが実施するサロンは介護予防を目的とし、主に運動や脳トレなどのメニューを行っている。認知症カフェは居場所づくりと介護しているご家族等の情報交換を目的として行っている。

教育の充実のために教育費の新規事業や重点施策の取り組み

問 どうして今、第3子以降学校給食無償化が提案されたのか。今後『学校給食完全無償化』への検討が進められるのか。

答 多子世帯の保護者の経済的負担を軽減させるために考えている。今後も給食費を負担いただける世帯には負担をお願いし、経済的に困難な世帯に対してはしっかりと支援を行っていききたい。



問 学校の特別教室・体育館等の空調設備、トイレのさらなる整備の考えは。

答 新たに設置する計画はないが、引き続き国や県、他市の動向を注視したい。

意見 特別教室や体育館等への空調設備の設置やトイレの改修等、早急に検討をお願いしたい。

問 アシスタント等の配置状況の見通しは。

答 それぞれの職種の賃金ベースアップを図り、今年度と同様の人数を確保する。

みえ松阪マラソンは松阪発信の大看板になり得るのか

問 フィニッシュ後の更衣室とその後のシャトルバスの改善は。

答 クラブハウスの設置、バス本数の再検討と乗り場位置の抜本的見直しをする。

問 総合運動公園に体育館を造る意図は。

答 今のところ想定していない。

意見 体育館を造らないなら少しでも暖かい11月にする案もある。市民に愛される大会になって欲しいので、市政バスでコースを回るなどのプランで市民への理解を広めて欲しい。

その他の質問

- フッ化物洗口の成果と課題
- 部活動の地域移行の現状と見直し

会派に所属しない議員



24' 安全安心が充実の予算か～考え方を問うvol 2～



どのむら みねよ 殿村 峰代 議員

松阪市の防災対策は災害関連死を防ぐことができるか？

問 騒音混乱の中、言葉の情報が十分届かない防災行政無線。違うツールが必要では。

答 防災行政無線だけでは不十分を認識。他情報手段と複合的運用で効果的な伝達。

意見 防災アプリの導入を。

問 安全で快適な避難所運営の在り方は。

答 令和2年8月改定の松阪市避難所運営マニュアルの運用が重要。地域住民と



▲東京都の防災アプリ

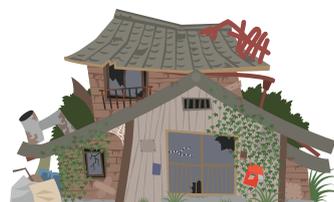
松阪市の危険空家対策は進展するのか

問 現在把握している空家4,103軒に対して地域からの苦情はどのくらいあるのか。

答 年間平均約160件ある。

問 C判定空家等の解消数を年間60軒という目標があるが、松阪市では行政代執行なども考慮しているのか。

答 市でも予算化したことがあるが、全国的に件数が伸びないのは膨大な事務負担、動産の処理等の課題や、債権が発生することから。財産管理人制度もあるのでケースに合わせて制度の活用を進めていく。



共に訓練に取り組んでいく。

今後の医療と介護が目指す方向は安心をもたらすものか？

問 市民病院の機能転換や指定管理は市民・職員の不安として相談がある。説明責任は果たしたか。

答 答申の結論。超高齢社会がもたらすニーズに応える病院、大本の病院との2病院で急性期から回復期までの大きな枠組み組織の中で長きにわたって働きやすい病院に。災害時も医療スタッフの応援体制も可能。今後もさまざまな機会に、広報説明に努める。

問 介護保険改定「在宅介護の終わりの始まりが始まった」という問題点と対策は。

答 利用者の自己負担増と保険料引き上げ。訪問介護は増益に結びつかない等の課題は認識。市長会等で国に要望する。



命を守り、子どもを育む、未来へのまちづくりを問う！



おき かずや 沖 和哉 議員

もり はるか 森 遥香 議員

ふかた りゅう 深田 龍 議員



のろ かずひろ 野呂 一平 議員

あかつか かのり 赤塚 かのり 議員

はまぐち たかし 濱口 高志 議員

子育て世代にもっと支援を！

問 昨年の代表質問で提言した新生児聴覚スクリーニング検査の公費負担に対し、尽力くださった担当部局に敬意を表する。生後1カ月健診の公費負担が計上されているが、国は5歳児健診にも助成し推奨している。なぜ実施しないのか。

答 現時点では具体的な方法や小児科医の確保など課題がある。体制整備にむけ、研究を進めたい。

保育・教育現場の多様性 ~はだいろとランドセル~

問 我々人間の肌の色は特定の1色ではなく、肌色という表現を文具メーカーが使

わなくなって20年以上経つ。保育士や教員の言葉遣いは適切か。

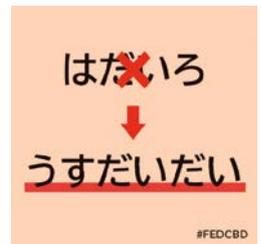
答 公立幼稚園・保育園で聞き取ったところ48%が肌色と回答し、日頃の言葉遣いにも反映されていると思う。学校現場では聞き取りはせず、行動できる力を育む人権教育を今後も進めていく。

問 適切な表現を使うよう通知すべき。

答 重く受け止め丁寧に周知・対応する。

問 通学かばんの重さへの懸念から軽量化やリュック型なども増えている。ランドセルでなければいけないのか。

答 学用品やかばんは学校指定ではなく、保護者の判断に任せている。



▲肌色は差別用語のひとつ

誰もが安心できるまちづくりと 生きるための支援

問 全国的にはおおむね減少傾向にあったが毎年30人前後で変わらない。自死対策も再定義が必要。NPO法人自殺対策支援センターライフリンクは全国の自治体と連携し、支援体制の構築や研修を行っている。市も連携協定するべきではないか。

答 自死対策を推進していく上で大変心強い団体である。連携協定も含め、研究していく。



▲厚生労働省
自死対策 HP より

つながり支え合う、 地域共生社会の実現を願う

問 地域共生社会の実現に向け、福祉まるごと相談室で行う子育て応援事業とは。

答 子育て応援スタンプラリーをきっかけに、子育て分野の横断的な取り組みを行う。

問 みんなの居場所づくりで各種団体とのマッチング機能はどこが担うのか。

答 福祉まるごと相談室、社会福祉協議会、行政が中心となり、民間企業や地域住民等との公民連携をより進めていく。

問 社会的処方推進として、リンクワーカーは相談者をコミュニティーにつなげる役割を担う。養成研修は行っているか。

答 さまざまな研修を実施し育成している。

意見 重層的支援体制は従来の支援制度の隙間にある問題への取り組みが重要だ。



◀地域共生
社会にむけて

12億円のたばこ税収入を活用し、 分煙環境の整備を！

問 国の税制大綱にたばこ税を活用した分煙施設の整備要請が記載され5年目である。市の見解は。

答 受動喫煙を防ぐためにも市たばこ税の活用を考えている。分煙環境が適切かどうか確認し、屋外分煙施設の整備についてもさらに研究していく。

学校の改修が進まないのはなぜか？

問 長寿命化計画に整備事業が掲載されているにもかかわらず、実行に移されていないものがある。幸小学校の校舎は築65年と48年の2棟があり、建物の健全度は20と40という低い評価である。2023年から改修が始まる予定ではなかったのか。なぜ令和5年度だけでなく、令和6年度も予算が上がってこないのか。長寿命化計画と実際の行政運営との齟齬を説明いただきたい。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により協議が遅れ、学校再編活性化の内容を長寿命化計画に十分に反映できなかった。今後、学校再編活性化の対象校における議論の進捗状況を踏まえた上で、適宜計画の見直しを進めていく。



▲学校規模適正化と校舎改修

空き家対策のさらなる推進を

問 今年度、空き家対策特別措置法の改正があり、空き家等管理活用法人の創設が

可能となった。民間法人が公的な立場で活動し、市の補完的な役割を果たすことができる。民間の力も借りながら空き家対策に臨む考えはあるのか。

答 市の方針が定まるまでの間は、指定を行わない。策定に併せて空き家対策協議会の意見を踏まえ、支援法人の活用について調査研究をしていく。

山と生きる～中山間地域の振興とまちづくりの再定義～

問 市の鳥獣害の農作物への被害は。

答 令和4年度の被害は、シカ、イノシシ、サル等、合計1,151万5千円である。

問 市の獣害対策の現状は。

答 松阪市鳥獣被害防止計画を策定し「獲る・守る・追い払う」の3つの対策を実施している。令和4年度の捕獲実績は、シカが2,135頭、イノシシが464頭、サルが81頭、カラスが155羽、その他中型動物が324頭。

問 獣害対策も盛り込んだまちづくりの再定義は。

答 住みやすい環境を守って、地域の実情に応じた効果的な獣害対策について、三重県をはじめ猟友会や地域と連携して進めていきたい。

意見 獣害とどう向き合うのか、野生動物と共存共栄していくのか、幅広い視野で向き合っていたいただきたい。



▲山の暮らしの一面

市民、事業者、行政の協働で考える ゴミ減量と環境問題

問 農林水産業や水資源、自然生態系、災害、

経済活動などへの影響から、もはや気候危機と叫ばれている。その対策の1つがごみ減量と考える。ごみ減量や資源の有効活用促進を図る3Rサポーター活動が12年間行われているが、現状は。

答 高齢による退会等により会員数は横ばい状態であり、広げていきたい。

問 民間と連携した粗大ごみのリユース事業を市で行う考えはあるか。

答 さまざまな団体の活動を参考に、リユース可能な廃棄物の利活用を研究していく。

問 県はデジタル技術を活用し、散乱ごみ分布状況調査等を行っている。市の不法投棄の監視に生かせないか。

答 デジタル技術やアプリ等による不法投棄監視については、今後研究していく。



▲リサイクルと循環型社会

市制20周年を迎えるにあたり

問 松阪の魅力を再発見し、交流・関係人口を増やしていくことが、定住人口増加につながると思う。地元愛を育むために、子どもや大人に対してどのような働きかけをしていくのか。

答 新規事業として、郷土に眠る新たな歴史的資料を掘り起こすという、松阪歴史資料新発見事業を計画している。郷土愛を育む手だてになると考えている。

問 市制20周年に向けて、市としてのシビックプライドの醸成への想いは。

答 合併して20年を迎える中で、一体感をもって市民の想いを形にする成功体験が誇りにつながると考える。そのためにも、地域の自慢を発信していきたい。

会派に所属
しない議員



かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員

「入院に至らなかった患者」から7,700円徴収する問題

厚労大臣が「国が定める選定療養の枠組みの外」と発言

問 大臣は記者会見で「松阪市の選定療養費についての対応は、国の定める枠組みとは想定していない。市に制度の枠組みを十分説明し、今後の取り扱いを確認したい」とした。市には問い合わせがあったか。

答 厚労省からは「救急の患者から特別の料金を徴収することは認められない。入院に至らなかった患者を救急の患者から一律に除外する運用とはせず個別の医師による適切な判断がなされること」というメールが

あった。

問 入院に至らなかった患者から一律に選定療養費7,700円を徴収するものではないという理解でよいか。

答 はい、その通り一律に除外するものではない。医師の判断による。

問 「医師の判断」は当初から言われているので確認すると「医師の判断もあるが、入院か、入院に至らなかったかで線引きするとの答弁があった。そういうことであれば、医師の判断より入院かそうではないかになってしまうのか。

答 個別の状況、容態、搬送時の環境で、こういった事例がどうかという回答は難しい。



会派に所属
しない議員



おがわ ともこ
小川 朋子 議員

新年度予算から、市民それぞれの立場に立って考えを問う

みんなの商品券とコミュニティバスは、鳥の目で改善を！

問 みんなの商品券について、5回目はどうのように改善されるのか。

答 購入される方の利便性を高めるため、令和5年度は日曜販売窓口を2回から3回実施に、令和6年度はさらに追加し4回の実施を予定している。

意見 販売や換金方法など改善していただいている。事業者の声から「短期間で換金できないか」締切日を設けず随時換金することで、事業者負担は軽くなる。利用者にも事



▲政策改善はさまざまな視点から

業者にもさらに喜ばれる商品券となっていくことを期待している。

問 コミュニティバス存続に向けて、今後の対策や検討課題は。

答 路線バス運賃無料デーの実施やバスロケーションシステムの導入等の他に、バス停の位置やダイヤの見直しを協議するなどの利用促進に取り組んでいる。

意見 無料デーは有効に感じる。他にもいろんな方法で乗る機会を増やし、改善策を見つけることが必要。学生には通学時間に合わせた通学割引、降りるときは路線上ならどこでもよいとか、路線バスの旅企画で乗り鉄ならぬ乗りバス等。斬新なアイデアで利用客の獲得をお願いしたい。



いつまでも安心して
暮らせる
未来のために!

まつおか つねお
松岡 恒雄 議員おくて こ
奥出 かよ子 議員おの けんじ
小野 建二 議員

高齢者支援の充実

もめんノートに新たな法改正の反映を

問 本年令和6年4月1日より施行される相続登記の義務化がスタートする。もめんノートにもこの相続登記の義務化制度を盛り込むか、別冊を作成するか、また津地方法務局、三重県司法書士会が作成したエンディングノートにリンクするような、いずれかの対応をしていただきたいが、いかがか。

答 市のホームページ上のもめんノートの項目に、議員から紹介をいただいた法務局が作成された、エンディングノートのリンクを貼りつけ、ご案内し、もめんノートへの掲載については、次回内容を見直しする際に、検討したいと思う。



▲松阪市エンディングノート

過疎地域での医療の不安解消で 安心な医療体制整備を!

問 宮前診療所の新体制はいつからか。

答 現在の医師は、令和6年3月23日まで診療。その後翌3月24日から施設の

修繕を約1カ月実施。4月23日から新たな体制で診療を開始する予定。

問 変わることを住民の皆さんへの周知は。

答 チラシを作成し、宮前診療所の壁面に掲示し、室内にもチラシを設置。住民の皆さんに広報誌とともに、自治会での回覧をお願いし、薬局には、次期指定管理者がご挨拶をされ、回覧を通じ、管内のケアマネジャーにも周知を図っている。

意見 変化への不安を安心へと導いていただけるよう丁寧な周知徹底をお願いする。

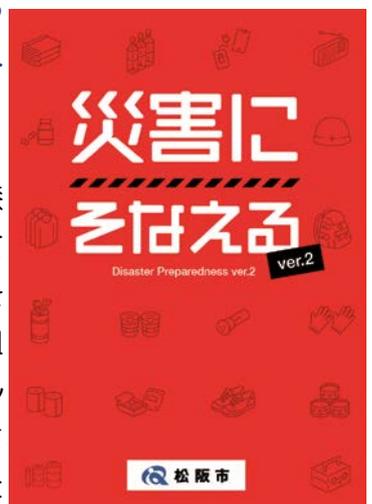
教訓を生かす防災・減災対策を 防災対策これでよいのか

問 能登半島地震でもトレーラーハウス等の活用があり、市民の皆さんを守るため、こういった企業との連携や災害協定の推進をしていただきたいが、いかがか。

答 議員より、災害協定のご提案を頂戴し、新たな1社と災害協定を進めている。

問 共助に対する働きかけの考えは。

答 地域に出向き、地域の方々と膝を突き合わせて話す防災講座を継続的に取り組み、市民の皆さんに共助の大切さを伝えて参りたいと考えている。



▲防災啓発冊子

問 災害発災時に想定されること、緊急時の現実を平常から市民の皆さんに伝える重要性を強く感じるが、自助に対する働きかけはどのように考えているのか。

答 南海トラフ地震が発災した場合の市内被害想定は、発災直後の避難者は、約3万2,000人で、市内の死者数は理論上最大クラスで3,600人、過去最大クラスで1,100人と想定している。インフラの状況では発災直後、市内の89%が停電、水道は100%断水し、1カ月後でも66%が断水と想定している。松阪市防災ハンドブック災害にそなえるバー

その他の質問

- ・松阪市寝たきり高齢者等紙オムツ事業の取り組み
- ・体育館・特別教室への空調設備と耐震強化にトイレの様式化
- ・いきいき学校プロジェクト活動実績と改善の取り組み
- ・令和6年4月こども家庭センター設置の取り組み
- ・カーボンニュートラルに向けゴミの削減対策

ジョン2を各戸配布し、市民の皆さんに災害に備える意識を持っていただくよう努めてまいります。

意見 津市のように、指定避難所の備蓄リストに大人用オムツ、幼児用オムツ、女性用生理用品ほか、アレルギーを考慮した非常食がある。松阪市も災害弱者等、要配慮者の方への体制整備をお願いしたい。



▲津市避難所備蓄品リスト

会派に所属しない議員



ひさまつ みちお
久松 倫生 議員

いのちと暮らしを大切にする
市政の実現を

「選定療養費」の徴収は見直し、救急をまもる市民的論議を

問 広報に救急医療の選定療養費を7,700円徴収するとある。市長は記者会見で救急車を呼ぶのをためらう制度ではない、躊躇なく呼んでもらいたいとコメントがある。救急隊員の方から、ほんとは搬送しなければならないのに選定療養費がかかるからやめといてと言われるとブレーキになると。それで助かる命が助からないということにならないか。

自治体が管内の料金徴収を決める根拠



▲救急で入院しないと7700円?!

があるのか。救急車を呼ぶことを躊躇することがあったら責任は誰がとるのか。

答 持続可能な体制整備を図ることを目的に進めた。平等な医療を疎外するものではないと考える。

意見 明確な答弁なかった。みんなで考えて救急体制どうしようか考えるべき。こんなやり方はいったん凍結するべき。

その他の質問

- ・財政運営の基本点
- ・水道料金の引き下げへの取り組み、国保、介護保険の負担軽減など暮らしをまもる課題
- ・移住政策（地域おこし協力隊、飯高のデマンド交通、香肌小学校の取り組み）
- ・不登校と進路保障、多様性学校の提案など誰一人取り残さない教育

令和5年度 政務活動費の 執行状況

■交付の趣旨

政務活動費とは議員の政策立案及び調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付しています。

■交付の対象

松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付しています。

■交付額

会派の所属議員数に月額 25,000 円を乗じて得た額（会派に所属しない議員は月額 25,000 円）を交付しています。

令和5年度（4月分～3月分） 政務活動費

（単位：円）

科目	会派名	政友会 9人	蒼水会 6人	市民クラブ 5人	公明党 3人	会派に所属しない議員					合計
						小川朋子	殿村峰代	西口真理	海住恒幸	久松倫生	
交付額		2,700,000	1,800,000	1,500,000	900,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	8,400,000
支出	研究費	584,200	226,060	304,890				29,480	92,510		1,237,140
	調査研究旅費	810,910	1,165,680	455,940			43,770			43,770	2,520,070
	資料購入費		15,820			20,030			152,036		187,886
	事務費	349,427	61,822	102,832	44,842	16,616	46,036	25,161	38,381	25,779	710,896
支出合計		1,744,537	1,469,382	863,662	44,842	36,646	89,806	54,641	282,927	69,549	4,655,992
残額		955,463	330,618	636,338	855,158	263,354	210,194	245,359	17,073	230,451	3,744,008

※会議費、資料作成費、広報費、その他の経費は支出がありませんでした。

※政務活動費の残額 3,744,008 円については、松阪市に返還されました。

詳しくは松阪市議会ホームページをご覧ください

松阪市議会 政務活動費





議員研修会

令和5年度議員研修会 議会力、議員力の強化に向けて

講師 全国市議会議長会 企画議事部 主事 内田貴文氏

令和6年2月1日に議員研修会が開催され、議員26人が出席し、議会での質問、所管事務調査の活用について研修しました。

- 1 一般質問は追及だけでなく提言を含めて行う。
- 2 「検討する」「善処する」の結果どうなったのか次の定例会等で質問しないと一過性の質問、答弁になってしまう。
- 3 所管事務について調査を進めた結果を委員会の意志としたい場合は、報告書を決議として委員会で可決し、議会の意志としたい場合は本会議で可決する。
- 4 予算審査では事業内容の審査を行うが、決算審査では事業内容を質問するのではなく成果を審査する。

等、今後の議会活動にとって非常に有意義な講義でした。

行政視察



広報広聴委員会

バーチャル議会について

兵庫県西宮市（2月7日）

議会報告会という形にとらわれない、住民参加型の気軽に体感してもらえる場として市民祭りに共催参加し、「議会体感ツアー」の実施。わずかなチラシのみで、一日で276人の議会体感者が訪れるという、議会を知っていただくための効率の良い取り組みである。



松阪市議会だより「みてんか」100号記念

市議会だよりの歴史から紐解く広報広聴の変遷

平成17年1月1日の1市4町(松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町)の合併により新「松阪市」が誕生し、Vol.1(平成17年3月1日号)が発刊となりました。

一般質問の掲載方法も こんなに変わった!

発刊当初は、一般質問を行った議員の名前、質問タイトル、質問内容を文書のみで掲載していました。所々掲載のあった写真も白黒でした。Vol.10(平成18年12月1日号)から一般質問の発言紹介ページに議員の写真が掲載されるようになり、顔が見える形となりました。

現在では、市議会YouTubeページと連携しながら情報発信を行うため、各議員の一般質問動画へリンクしている2次元コードを掲載しています。



vol.1創刊号とvol.95の表紙

2005(平成17)年から2023(令和5)年の18年でこんなに変わりました



vol.2とvol.99の一般質問

今年は広報広聴委員会が 誕生して10年目!

Vol.51(平成26年9月1日号)

当初は市議会だより編集委員会という名で活動をしていました。しかし、市議会だよりの編集・発行だけでなく、広く市民の声を聴く機能を持たせ、より市民に身近な市議会にしていくため、広報広聴委員会へと形を変えました。

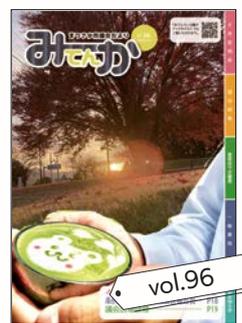
Vol.53(平成27年1月1日号)

「読みづらい」との市民の声を受け、図や写真の活用を増やしたり、縦書きから横書きへレイアウトの変更を行いました。

市内高校生のデザインを表紙に、 タイトル「みてんか」としてリニューアル!

今では「松阪市議会だよりは読みやすい」との評価から、他市町の行政視察があるほど松阪市議会だよりは変化しました。歴代の「市議会だより編集委員会」「広報広聴委員会」の委員と、市民の皆さんのアイデアと声を取り入れながら、今に至ります。

これからも松阪市議会は、時代の移ろいに柔軟に対応・変化しながら皆さんの声の収集と情報の発信をしていきます。今後も、たくさん声を聞かせてください。



vol.96



vol.99



令和6年9月定例会の開催日程（予定）

会期
31日間

8/27	火	議会運営委員会	17	火	本会議（一般質問③）
	：		18	水	本会議（一般質問④）
9/3	火	本会議 （決算議案上程・提案説明、決算調査特別委員会設置、補正予算等議案上程・提案説明） 特別委員会（決算調査特別委員会）	19	木	分科会・委員会（環境福祉） 分科会・委員会（文教経済）
	：		20	金	分科会・委員会（総務企画） 分科会・委員会（建設水道）
9	月	本会議 （決算議案・補正予算等議案に対する質疑）	24	火	分科会・委員会（環境福祉） 分科会・委員会（文教経済）
10	火		25	水	分科会・委員会（総務企画） 分科会・委員会（建設水道）
11	水		：		
12	木	本会議（一般質問①）	10/1	火	特別委員会 （決算調査特別委員会・分科会長報告）
13	金	本会議（一般質問②）	2	水	本会議 （決算調査特別委員長報告・決算認定等、補正予算等議案委員長報告・議決）
14	土		3	木	
15	日				
16	月				



編集後記



平成17年（2005年）年3月から始まった松阪市議会広報紙「みてんか」は、おかげさまで100号を迎えることができました。それぞれの編集委員は、これを作成するために毎号しっかりと時間をかけてこれに取り組んでいますし、また質疑を行った各議員も振り返りをしながら、50分の質問内容を600文字以内に収めています。少しでも皆さんからお寄せいただいた期待に応えようと、それぞれ努力をしているところですが、まだまだ足りない部分もあることと思います。

皆さんの暮らしが、協働の中で少しでも良い方向となりますよう努めてまいりますので、忌憚のないご意見をお寄せくださいますよう、これからも「みてんか」をみてんか（`v´）。どうぞよろしくお願いいたします。

広報広聴委員会 委員長 殿村 峰代



6月号の表紙

今月号の表紙は第100号を記念してこれまで市議会だよりみてんかの表紙を飾ったイラストをまとめて掲載しました。



広報広聴委員



この写真は松阪市議会棟前で撮影しました。

（左から）
市野 幸 男
海住 恒 幸
坂 口 秀 夫
○副委員長
濱 口 高 志
◎委員長
殿村 峰 代
森 遥 香
奥出かよ子
橘 大 介